

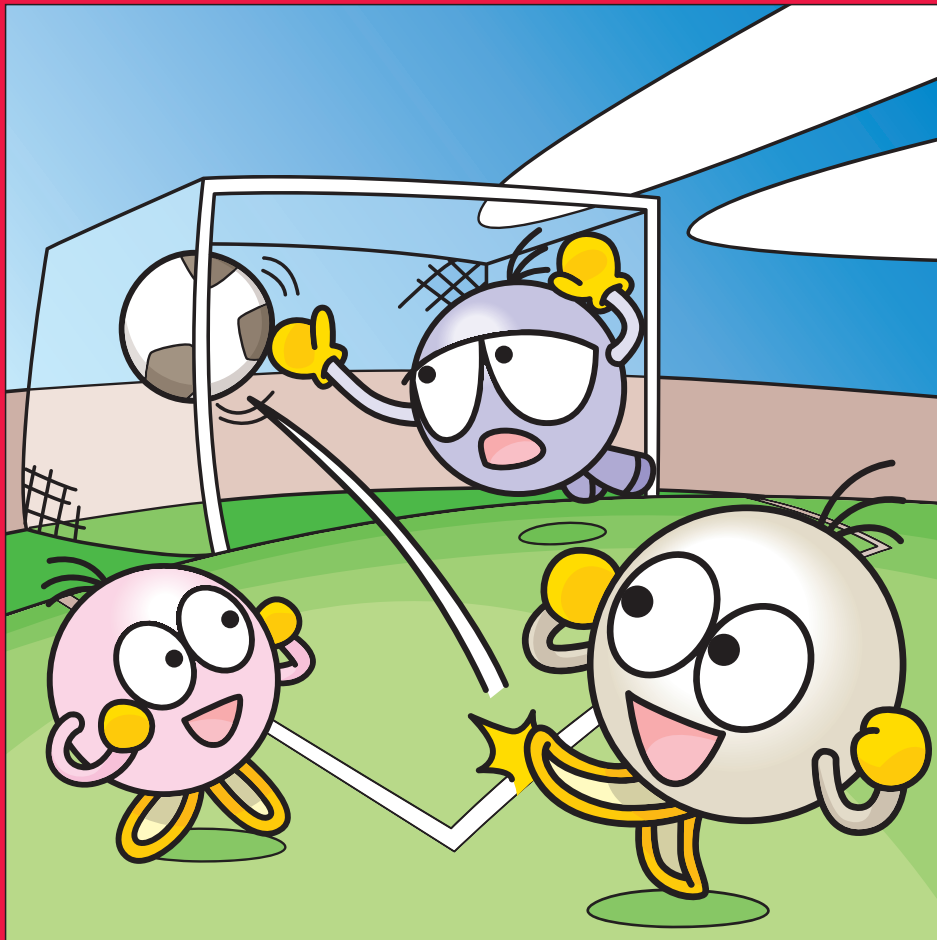


南米スペイン語圏出身児童のための算数教材

# 掛け算マスター・

# 日本語クリアー

指導者用





# 南米スペイン語圏出身児童のための算数教材 『掛け算マスター・日本語クリアー』 指導者用 目次

\* Nは名詞、Vは動詞の意味

課	タイトル	指導内容	日本語の表現	ページ
1課	「3こずつ 4 さらぶんで 12こ」	① 「A個ずつ」という考え方と言い方を理解する。 ② 「1 つぶん」という考え方と言い方を理解する。 ③ 「A個ずつB皿ぶんでC個」という考え方と言い方を理解する。	① 同じ数を繰り返し計上する表現「～(数詞)ずつ」 ② ある数を1つの単位としてみなす表現「～(数詞)ぶん」 ③ 総和を表す助詞「で」	1
2課	「3かける 4は 12」	① 掛け算の意味と記号「×」の使い方を理解する。 ② 「1 つぶん」の大きさを把握して、掛け算を使って全量を求められるようにする。	① 「×」の言い方および、掛け算の式の読み方を知る。 ② 「かけざん」という用語を知る。	8
3課	「3 cmの 3 ばい」	① 「いくつぶん」の概念を知る。 ② 「いくつぶん」と「何倍」の関係、および「～のA倍」の言い方を知る。	① 「□が□つぶんで□」 (例) 3 cmのテープが2つぶんで6 cmです。 ② 「A倍」「□のA倍」(例) 2 この3ばいは6 こです。	13
4課	「九九」	① 「□のA倍」を足算で計算していると手間がかかるとに気づく。 ② 掛け算九九を覚えると計算が速くなり便利であることを知る。 ③ 五の段と二の段の九九の言い方を知る。	① 算数用語「九九」「□の段」「□の段」および、五の段と二の段の九九の言い方 ② 「A個ずつB個分でC個」	20
5課	「1ふくろ ふえると、なんこ ふえますか。」	① 三の段と四の段の九九の構成と唱え方を知る。 ② 掛ける数が「1」大きくなると、答えが「掛けられる数」の分だけ大きくなることに気づく。	① 三の段と四の段の九九の言い方 ② 「1袋増えと、みかんはA個増えます。」	28
6課	「1 おおきくなると」	① 六の段と七の段の九九の構成と唱え方を知る。	① 六の段と七の段の九九の言い方 ② 「増える」と「大きくなる」の2つの言い方があることに気づく。	35
7課	「なんこ たべることになりますか。」	① 八の段と九の段および一の段の九九の構成と唱え方を知る。	① 八の段と九の段および一の段の九九の言い方 ② 期間などを単位とした言い方「で」(例) 1 週間、2 日 ③ 動作をした結果を表す言い方「Vことになる」 (例) 3 個食べることになる	42
8課	「3はこぶんで いくつになりますか。」	① 掛け算を適用する場面に慣れる。	① 「A個分で」「何個になるか」などの言い方の復習	49
9課	「いれかえても おなじ」	① 掛け算では掛ける数と掛けられる数を入れ替えても答えは同じであること(乗法の交換法則)を理解する。	① 「入れ替えても(答えは)同じ」	55

課	タイトル	指導内容	日本語の表現	ページ
10課	「0のかけざん」	① 0を掛けると答えは0になる場面を理解し、 $\square \times 0 = 0$ の式で表すことを理解する。 ② 0にどんな数を掛けても答えは0になる場面を理解し、 $0 \times \square = 0$ の式で表すことを理解する。	① 「おはじき」「はじく」「はじく」「とくてん」 ② N1のN2のN3 「0点のところの得点」	61
11課	「わけて あわせて」	① 乗法の分配法則を理解する。 「かけられる数」を2つに分けて計算し、あとでそれぞれの答えを足して、元の掛け算と比べてみる。 「かける数」を2つに分けて計算し、あとでそれぞれの答えを足して、元の掛け算と比べてみる。	① 「もとめる」「ほうほう」「ほうほう」「答えをだす。」 ② N1はN2とN3をVたN4。「8は5と3を合わせた数」	68
12課	「10こずつ 3ふくろで」	① 「 $10 \times (1 \text{ 位数})$ 」の掛け算の答えの求め方を理解する。 ② 「 $(1 \text{ 位数}) \times 10$ 」の掛け算の答えの求め方を理解する。 ③ 既習内容を用いて「 $(2 \text{ 位数}) \times (1 \text{ 位数})$ 」の掛け算ができることに気づく。	① 1 (単位) にNはいくつあるかを表す言い方。 「1袋にみかんはいくつあるか。」 ② 同じ数だけ繰り返し繰り返し行われる表現 「 $\square$ 個ずつV」 (例) 「2個ずつ増える。」	77
13課	「 $20 \times 3$ や $200 \times 3$ の かけざん」	① 「何十 $\times$ (1位数)」の掛け算の答えの求め方を理解する。 ② 「何百 $\times$ (1位数)」の掛け算の答えの求め方を理解する。	① いくつがある中で、ある部分を限定する言い方。 「900円で答えが合っているか」 「4箱の場合で確かめてみましょう。」	84
14課	「 $23 \times 3$ の かけざん」	① (2位数) $\times$ (1位数)の掛け算の筆算の方法を理解する。 ② (2位数) $\times$ (1位数)で答えが3位数になる場合の計算方法を理解する。	① 算数でよく使われる語句「代金」。 算数特有の言葉「筆算」。	93
15課	「くりあがりの ある かけざん」	① (2位数) $\times$ (1位数)の掛け算で十の位で繰り上がりのある計算の方法を理解する。	① 「Vずに〜」(例) 「忘れずに〜。」 ② 「正方形」「長方形」「長方形」「辺」	102
16課	「 $213 \times 3$ の かけざん」	① (3位数) $\times$ (1位数)の掛け算の筆算の方法を理解する。 ② (3位数) $\times$ (1位数)で答えが4位数になる場合の計算方法を理解する。	① 「1単位で[数]円のN」+「〜を[数]単位V」 (例) 1 mで213円のリボンを3 m買いました。	108
17課	「どこから かけても おなじ」	① 3つの掛け算が用いられる場面を理解する。 ② 3つの掛け算は、どれを先にかけても答えは同じになることを知る。 ③ ( ) を使って3つの掛け算を計算する方法を理解する。	① 「[物]が[場所]に[数量]入っている。」という表現の複雑な言い方に慣れる。 (例) 「1個85円のキーが1箱に4個ずつ入っています。」	115
18課	「 $4 \times 30$ の かけざん」	① (1位数) $\times$ (何十)の掛け算場面と計算の方法を理解する。 ② $4 \times 30$ のような掛け算は、 $4 \times 3 \times 10$ で計算でき、その答えは $4 \times 3$ の積に「0」を加えた形になることに気づく。	① [数量]+[動詞の連用形]の言い方 (例) 5人掛け 3枚入り 6人乗り 10階建て	122
19課	「 $21 \times 14$ の けいざん」	① (2位数) $\times$ (2位数)の掛け算の筆算を理解する。	① 順番を表す言い方に慣れる。 (例) まず そして つぎに さいごに	129